

平成28年度 名古屋市ユース（U-14）サッカー選手権大会 審判割り当て

※ 審判をする上で、以下のことに注意してください。

- ・ 審判を割り当てられているチームで主審（1名）・副審（2名）を担当すること。主審は必ず有資格者が担当すること。
- ・ 副審は選手可（ルールに詳しいもの、有資格者が望ましい。準々決勝は選手不可、有資格者のみ）
- ・ 主審・副審の割り当ては審判担当チーム同士で事前に話し合っておくこと。
- ・ 会場担当チームは第4の審判員を担当するため、会場担当チームと対戦するチームは主審を担当すること。
- ・ 主審は審判服を着用すること。（副審もできる限り審判服を着用すること。）

10/29(土) 中川学体(C), 志賀(D), 原(H), 楠(J), 名電神領G(L), 豊国(N), 長良(R), 大高(S), 名南(T), 新郊(U), 御田(W), 山田(X) 10/30(日) 名古屋(A), 当知(G), 振甫(O), 大高(S), 山田(X) 11/ 6(日) 天白学体(B), 守山東(M), 振甫(O), 南陽(P), 高針台(Q), 大高(S) 11/13(日) 南陽(P), 高針台(Q) 11/19(土) 天白学体(B), 日比野(I), 守山東(M), 大高(S)			
	第1試合	第2試合	
審判	第2試合のチーム	第1試合のチーム	第4の審判員

10/29(土) 天白学体(B), 高針台(Q), 猪子石(V) 10/30(日) 中川学体(C), 港明(E), 猪高(F), 大森(K), 守山東(M), 11/ 6(日) 猪高(F), 日比野(I) 11/13(日) 日比野(I)			
	第1試合	第2試合	第3試合
審判	第3試合のチーム	第1試合のチーム	第2試合のチーム

☆ 中川学校体育センター(B), 天白学校体育センター(C)は②10:15が第1試合です。
 また、10月30日(日)名古屋中学校会場は⑤14:00が第1試合になります。
 試合時間が異なりますので、注意してください。

11月20日(日) 準々決勝 (副審は選手不可, 有資格者のみ)

守山東中学校(M)			
	主 審	第1副審	第2副審
① 9:30	御 幸 山	第2試合のチーム	第2試合のチーム
②10:45	守 山 東	第1試合のチーム	第1試合のチーム

大高中学校(S)			
	主 審	第1副審	第2副審
① 9:30	長 良	第2試合のチーム	第2試合のチーム
②10:45	南 陽	第1試合のチーム	第1試合のチーム

12月3日(土) 準決勝・決勝 名古屋中(A)

	主 審	第1副審	第2副審	第4の審判員
準決勝① 9:00	長 良	南 陽	富 士	滝ノ水
準決勝② 10:15	御 幸 山	名 塚	守 山 東	守 山 東
決 勝 14:00	守 山 東	東 星	今 池	名 塚

会場使用について（総会資料より）

- (1) ベンチ及びその周辺には、登録した監督・コーチ・選手以外の者（登録外選手や保護者など）が入らないように、チームで徹底してください。
- (2) ゴミは各チームで必ず持ち帰り、監督責任者で更衣場所の点検を行ってください。（会場付近についても同様）
- (3) スパイクなどについた土や泥は、必ずグラウンドで落とし、更衣場所を汚さないようにしてください。やむを得ず汚れた場合には、掃除して帰るようにしてください。
- (4) 器物破損が生じた場合は、必ず会場責任者に報告し、指示に従ってください。
- (5) 会場へ問い合わせはしないでください。また、保護者の車の乗り入れ、会場付近の路上駐車はやめてください。各会場への自家用車の乗り入れには、**指定駐車券(監督用, 審判用)**の提示が必要です。
- (6) 学校・学校体育センター敷地内は禁煙です。また、会場周辺で喫煙の際も、必ず吸い殻の始末をしてください。
- (7) 学校体育センターは**9時以前**に集合しないでください。また、周辺の公園で集合したり、アップ等の活動をしたりしないでください。

審判について(詳細は総会資料をご確認ください。)

レフェリーは、ルールが尊重され、試合に関わる全員がサッカーを楽しめるように、選手がプレーに集中できる環境作りを助けるための存在です。安全と公平性が保障された試合となるように、ゲームコントロールに励んでください。

(1) 競技規則(ルールブック)をよく読みましょう。

競技規則が大幅に改訂されました。試合中に気になったことや疑問に思ったことなど、ぜひ競技規則で確認しましょう。新しい競技規則で特にチームに指導していただきたいこと、レフェリーとして特に留意して、適用ミスのないようにしていただきたいことは以下になります。

- ① リスタート
 - ・ キックでプレーを開始・再開する場合は、ボールを(静止後に)明らかに動かす。
 - ・ キックオフはどの方向にボールをけても良い。ただし、キックオフ前に、ハーフウェイラインを越えて相手側コートに立ってはいけません。
- ② オフサイド
 - ・ 反則が起きた場所からプレーを再開する。(副審はフラッグアップするまで、ボールを追うことを止めない意識に改める必要がある。)
- ③ ペナルティキックとPK方式
 - ・ キックフェイントは最も罰すべき行為である。(警告→相手の間接FK)
 - ・ ゴールキーパーがキック前に前方に飛び出したことによりゴールを阻止した場合、警告となる。(PK方式中に2度繰り返して退場になる場合もある。)
 - ・ PK方式では、主審のコイントスにより、キックするゴールを決める。(PK方式前に2度コイントスをするようになる。)
 - ・ PK方式中でも両チームの競技者の数は同数にする。
- ④ 競技者の用具
 - ・ 試合中に用具を交換したり、修正したりするためにフィールドを出た後、主審の承認を得れば、インプレー中でもプレーに復帰することが可能である。

(2) 起きた現象(ファウル)をよく見ましょう。

- ・ レフェリーとして、争点がよく見えるポジションに立ちましょう(角度をあわせるために、サイドステップなどを使いましょう。)
- ・ 感覚的に決めつけてずに、起きた現象(ファウル)をよく見て、急がずに判定しましょう。

(3) 戦える選手を育てましょう。

- ・ プレーオンを活用し、手や腕を不正使用した些細なファウルを受けても、もう1プレーががんばることができるたくましい選手を育てましょう。
- ・ 激しくタフなプレーを認め、シャツを引っ張るなどの些細でも悪意あるプレーに厳しく対処しましょう。
正しいチャージでの当たり負けをファウルとしない。ボールにチャレンジせず、相手のプレーを妨げようとするファウルを見逃さない。

審判員同士の打合せや意見交換など、指導者同士だけでなく、選手や保護者ともルールの理解と共通認識をさらに深めていただきますよう、よろしくお願いたします。